

エゾシカ管理のあり方検討部会スケジュール(案)

	時期	テーマ	内容	オブザーバー
第1回	平成31年2月	個体数管理の目標	○現行計画・目標の振り返り ○今後のエゾシカ管理のあり方 ○今後の部会の検討事項	松田裕之(横浜国立大学) 近藤誠司(北海道大学)
第2回	令和元年5月	有効活用の推進に向けた仕組み	○有効活用の現状 ○食肉衛生の確保 ○食肉の安定供給 ・施設の現状 ・狩猟者の施設への搬入確保	・食肉処理業者(株)アイマトン ・食品衛生課 ・(一社)エゾシカ協会
第3回	令和元年11月	有効活用の推進に向けた仕組み	○販売者(小売店)の現状 ○エゾシカの経済的評価・価値 ○今後の資源管理に向けた課題のまとめ	・販売者(コープさっぽろ) ・(一社)エゾシカ協会
第4回	令和2年2月	捕獲体制の構築	○捕獲体制の現状 ○地域主体の資源管理(知床の事例、市町村の事例) ○人材育成	・(公財)知床財団 ・市町村担当者(白糠町、厚岸町) ・(一社)エゾシカ協会
第5回	令和2年5月	部会検討のまとめ(中間報告)	○新たな目標水準の検討 ○部会検討のまとめ(有識者会議報告) ○次期エゾシカ管理計画への反映	
第6回	令和2年11月		○技術的課題の解決に向けて ・罠いワナの捕獲技術確立 ・专业化(ジビエ利用の捕獲) ・捕獲個体の処理	
第7回	令和3年2月	部会検討のまとめ(最終)	○次期エゾシカ管理計画への反映 ○検討を継続する事項	